

オートデスクアカウント マニュアル 「チーム機能」

※本マニュアルは、「契約管理者」向けに作成されています。

バージョン日付: 2021 年 8 月 11 日



目次

P.3 P.4 P.5
P.6~8
P.9
P.10~12
P.13~16
P.17
P.18
P.19
ない
P. 20



この度は、オートデスク製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。 本マニュアルは、オートデスクアカウントの「**チーム機能」**を使い、サブスクリプションやユーザを管理する方法について説明しています。

▲ご注意

本マニュアルは、「ネームドユーザー」ライセンスのサブスクリプションをご購入さ れた契約管理者向けに作成されています。

チームの概要

「チーム」とは?

オートデスクアカウントに追加された新しい機能で、契約中のサブスクリプションを 特定のプロジェクトや部署、契約毎などにグループ化することができます。 グループ毎に「チーム」を作成すると、サブスクリプションやユーザをそれぞれのチ ームで個別に管理することができます。

アカ	ウント		製品	ごとのユーザ管理			書書	出す 🔅
<u>م</u>	ホーム	P	<i>∓-</i> Ь: -	<i>∓−</i> Ь 1	^			
2	製品とサービス	~		チーム1	~			
	すべての製品とサービス		1個の製	チーム2			▶ 製品を検索	
	製品の更新		名前	チーム3		利用可能なシート数		
	カスタム インストール			チーム4				
	アクティブな体験版		E	チーム 5		2/2		->
8	ユーザ管理	v		チームの詳細を表示				
-	ユーザ別							
	製品別							



サインイン ライセンスにおける管理者の役割

ここでは、サインインライセンスにおける「管理者の役割」について説明します。

▲ご注意:チームの作成、サブスクリプションのチーム間の移動は、「契約管理者」かつ、ユーザ管理権限 のいずれかが付与されている人物のみが利用できます。

※ユーザ管理権限とは、「プライマリ管理者」、「セカンダリ管理者」、「SSO 管理者」のいずれかを指します。)

契約管理者

- ・ サブスクリプションの所有者(名義人)
- 支払い、更新、注文を管理するユーザ。更新の案内メールや請求書などのサブスクリプションに関係 すべてのメールを受け取る
- 契約管理者は1契約に対して1名のみ設定可能

プライマリ管理者

- ・ オートデスクアカウントのユーザの登録やユーザの製品へのアクセス権を管理
- 1つのチームに「1名」のみプライマリ管理者を設定可能
- プライマリ管理者は、複数のチームのプライマリ管理者として設定が可能
- オートデスクアカウントで各ユーザのライセンス再割り当てや役割の変更が可能
- 自分がプライマリ管理者となっているチームの製品の使用状況レポートの表示、及びエクスポート権 限を保有
- デフォルト設定では、契約管理者にこの役割が付与されている

セカンダリ管理者

- オートデスクアカウントのユーザの登録やユーザの製品へのアクセス権を管理
- ・ プライマリ管理者の補助的役割(設定は任意)
- プライマリ管理者と同等のユーザ管理権限を持つ
- 1つのチームに「何名でも」セカンダリ管理者を設定可能
- 自分がセカンダリ管理者となっているチームの製品の使用状況レポートの表示、及びエクスポート権 限を保有

SSO 管理者

- ・ プレミアムプラン契約の場合のみ設定可能な役割
- ・ プレミアムプランの特典における SSO の設定権限を持つ
- プライマリ管理者やセカンダリ管理者同様に、ユーザの登録やユーザの製品へのアクセス権の管理も 可能



チーム機能を利用するメリット

- 会社の階層やプロジェクトなどに基づいてユーザリストをまとめることができます。
- チームに分かりやすい名前を付ければ、そのユーザ グループを素早く参照できます。アカウントの契約の詳細セクションにチーム名が記載されるため、サブスクリプションの更新時期が来たときや、新規購入を決断する際に、どのチームにどのサブスクリプションが割り当てられているかを素早く確認することができます。
- 複数のチームを管理している場合に、管理者権限を別のユーザに付与して管理を サポートしてもらったり、当該チームの管理を任せることができます。これは、 複数の大規模な部門を管理しており、各管理者には1つの部門のユーザのみを 管理させたい場合に便利です。
- 使用状況レポートをチーム別にフィルタすると、そのユーザ グループが使用しているシート数を確認できます (シングルユーザー・サインインタイプ)

参考資料:

- Autodesk Account でチームを管理する
- Autodesk Account チーム



初めてサブスクリプションを取得すると、新しいチームが自動的に作成されます。チ ーム名は、契約管理者の名前と4桁の数字で作成されますが、後に名前を変更した り、新たなチームを作成したりできます。このチャプターでは、チームを新規に作成 する方法を説明します。

※既存契約にサブスクリプションを追加購入した場合や、別のサブスクリプション契約を購入した場合、どの チームに追加されるかについては、「チームに製品とサブスクリプションを追加する」を参照ください。

アカ	ウント		製品ごとのユーザ管理		2	iき出す 🔅
a	ホーム		チーム: 山田 太郎 - 1234	·]		
9	製品とサービス すべての製品とサービス	¥	1個の製品		₽ 8878#	
	製品の更新		名前↓	利用可能なシート数		
	カスタム インストール アクティブな体験版		Fusion 360	2/2		+
88	ユーザ管理	v				
	ユーザ別					
	製品別					
	請求と注文 サブスクリプションと契約	~				
<i>.</i>	レポート	~				
	インサイト					
	シートの使用状況					
	クラウド サービスの使用状態	s				
	ユーザ別クラウド サービス個 状況	包用				(

チームを複数作成することにより、ニーズに合わせて特定のプロジェクトや部署、契約毎にサブスクリプショ ンをグループ化し、効率よく管理することができます。そして、それぞれのチームに管理者やユーザを登録 し、サブスクリプションを分けて管理できます。

【1】オートデスクアカウントにログインして、「**ユーザ別」**または「製品別」メニ ューを選択し、**歯車のアイコン**をクリックします。

※この画像では「製品別」を選択しています。

アカウント	製品ごとのユーザ管理		書き出す
ふ ホーム	チーム: 山田太郎 - 1234 ッ		
教品とサービス ~ すべての製品とサービス	1個の製品		₽ 製品を検索
製品の更新	名前 ↓	利用可能なシート数	
カスタム インストール アクティブな体験版	Fusion 360	2/2	+
· ユーザ管理 ~			
ユーザ別			



【2】「アクション」メニューから、「チームを作成」を選択します。

アカウント	+	アクション
중 ホーム	山田 太郎 - 1234 の設定	チームを作成 サブスクリプシ をこのチームに利
製品とサービス すべての製品とサービス 製品の更新 カスタムインストール	★ チーム:山田太郎 - 1234 名前変更	
アクティブな体験版 88 ユーザ管理	•	
ユーザ別 製品別		
目 請求と注文 サブスクリプションと契約	•	
がレポート インサイト シートの使用状況	*	
クラウド サービスの使用状 ユーザ別クラウド サービス 状況	兄 史用	

【3】ポップアップ画面が表示されたら、任意のチーム名を入力し、「**チームを作** 成」をクリックします。

チームを作成 ×
チームは、組織または組織内の特定の機能を表すことができます。ユーザは複数のチームに所属できますが、サブスクリプション、ユーザ、データはすべてチーム内に保持されます。 チーム名 チーム名 チーム1
> チームを使用する状況
キャンセルチームを作成



【4】新しいチームが作成されました。作成のタイミングでそのチームにユーザを招待したり、サブスクリプションを移動することもできますが、後で行う場合は、 「後で行う」をクリックしてスキップしてください。

新しいチームの準備ができました 次に、チーム1 にユーザを招待し、使用する製品のサブスクリプションを 追加または移動します。後でサブスクリプションを移動するには、チーム 設定の[アクション]メニューに移動します。 ユーザを経時 サブスクリプションを移動
後で行う

新規にチームが作成されると、契約管理者がそのチームの「プライマリ管理者」として、自動で追加されます。プライマリ管理者は後に変更が可能です。そのチームにセカンダリ管理者を追加することもできます。

アナ	コウント		ユーザ別ユーザ管理		- ユーザを招待 書き	R4 §
a	ホーム		チーム: チー ム 1	~		
0	製品とサービス すべての製品とサービス		₽ ユーザを検索	_		
	製品の更新 カスタム インストール アクティブな体験版		1人のユーザ 名前↓	役期	アカウントのステータス	
88	ユーザ管理	~		プライマリ管理者	検証済み	->
	ユーザ別					
	製品別					
	請求と注文 サブスクリプションと契約	~				
<u>ش</u>	レポート	~				
	インサイト シートの使用状況					
	クラウド サービスの使用状態	R				
	ユーザ別クラウド サービス例 状況	吏用				



それぞれのチームは任意の名前をつけていただくことが可能です。すでに作成済みのチームの名前はいつでも変更が可能です。

【1】既存のチーム名を変更するには、「ユーザ別」または「製品別」メニューを選択し、名前を変更したいチームを選択して、歯車のアイコンをクリックします。 ※この画像では「製品別」を選択しています。

アカ	ウント	製品	ごとのユーザ管理			書き出す 🔅
6	ホーム	チーム:	<i>Ŧ</i> -Ь1 ^			
\heartsuit	製品とサービス	0 個の墨	F-∆1 ✓)	製品を検索	
	すべての製品とサービス		<i>Т-75</i>		<i>v</i>	
	製品の更新		チーム 3			
	カスタム インストール		山田 太郎 - 1234			
	アクティブな体験版		チームの詳細を表示			
83	ユーザ管理					
ſ	ユーザ別		このチ-	-ムに割り当て可能な製品はありません。		
l	製品別					

【2】「名前変更」をクリックします。

+	アクション 、
チーム1の設定	
チーム: チーム 1 名前変更	

【3】名前を変更して、「変更を保存」をクリックすると、変更が反映されます。 ※ここでは、「チーム1」から、「チーム AutoCAD」という名前に変更ました。

チーム1の設定		
$\mathcal{F}-\mathcal{L}$ AutoCAD		
変更を保存 キャンセル		



作成したチームにユーザを招待する方法です。ここでは、ユーザを1人ずつ招待する 方法です。

※複数同時に招待する方法や、バルクでユーザを登録する方法、ユーザーの役割を変更する方法などは、「オ ートデスクアカウント マニュアル ネームドユーザー編」**P.25~39** を参照してください。

【1】「**ユーザ別」**メニューで、ユーザを招待するチームを選択した後、画面右上の 「**ユーザを招待」**をクリックします。

※ここでは、「チーム 1」を選択

	ユーザ別ユーザ管理		🕂 ユーザを招待 書き出	9
	<i>∓−</i> ∠: <i>∓−</i> L 1	*		
~	<i>Ξ</i> -Δ1 <i>PΞ</i> -Δ2			
	チーム3 1人のユ 山田太郎 - 1234			
	名前 チームの詳細を表示	役割	アカウントのステータス	
~	The second seco	プライマリ管理者	検証済み	\rightarrow
	~	ユーザ別ユーザ管理 チーム: チーム 1 デーム1 デーム2 デーム3 1人のユ 山田太郎・1234 考前 デームの詳細を表示	ユーザ別ユーザ管理 チーム: チーム1 チーム2 チーム3 1人の2 山田太郎-1234 名前 チームの詳細を表示 プライマリ管理者	ユーザ別ユーザ管理

【2】1人ずつ招待する場合は、「単一を招待」のタブから、姓名とメールアドレス を入力して「招待状を送信」をクリックします。

↓	
単一を招待 複数を招待	読み込む
N	姓
太郎	Ш⊞
テスノール アドレフ	
taro yamada@yyyyyy com	
taro.yamada@xxxxx.com	



【3】招待状が送信されたら「完了」をクリックします。

ユーザを招待	×
招待状が送信されました。	
	完了

【4】チームにユーザが追加されました。

※追加されたユーザが、すでにオートデスクアカウントを取得している場合(既存ユーザー)、ステータスは 「検証済み」と表示されます。ユーザが招待状を開封していない、または、オートデスクアカウントを作成し ていない場合は、「招待済み」と表示されます。

アカ	ウント		ユーザ別ユーザ管理			- ユーザを招待 書き出す	r 🔅
6	ホーム		チーム: チーム 1	~			
9	製品とサービス すべての製品とサービス	×	₽ ユーザを検索				
	製品の更新 カスタム インストール		2 人のユーザ				
	アクティブな体験版		名前↓		役割	アカウントのステータス	
83	ユーザ管理	~	O late and		ユーザ	招待済み	→
	ユーザ別						
	製品別		Interference		ブライマリ管理者	検証済み	÷ .
	請求と注文 サブスクリプションと契約	×					



【5】アカウントに招待されたユーザは、管理者によって登録されたメールアドレスに招待状を受け取ります。

※招待メールは、アカウントを作成していない新規ユーザにのみ送信されます。既存ユーザには送信されません。

ライセンスの割り当てが完了していると、オートデスク ID とパスワードで製品にア クセスできます。





4. サブスクリプションを別のチームに移動する

チームを作成すると、ニーズに合わせて特定のプロジェクトや部署、契約毎にライセ ンスをグループ化し、チームに分けて管理することができます。

ここでは、特定のチームから別のチームヘサブスクリプションを移動する方法を説明 します。

※サブスクリプションを別のチームに移行できるのは、ユーザ管理権限の役割を持つ契約管理者のみです。また、サブスクリプションを移行しても、ユーザや割り当ては移動しません。もとのチームで製品に割り当てられたユーザは、サブスクリプションと同時に自動的に移動されません。

ユーザの割り当てと割り当て解除の詳細については、「<u>Autodesk Account のユーザ管理</u>」または、<u>「オー</u> トデスクアカウント マニュアル ネームドユーザー編」 P.35~または P.52~55 を参照してください。

【1】「ユーザ別」または「製品別」メニューから、サブスクリプションの移行先の チームを選択し、歯車のアイコンをクリックします。

※この画像では「製品別」を選択しています。

▲ご注意

サブスクリプションを別のチームに移動する場合は、「移行元のチーム」ではなく、 「移行先のチーム」を選択してください。

アカ	ロウント	製品ごとのユーザ管理	書き出す
6	ホーム	チーム: チーム1	
\heartsuit	製品とサービス ~	チーム1 イ	♀──────
	すべての製品とサービス	C TANCORN チーム2	20100'C.1967R
	製品の更新	チーム 3	
	カスタム インストール	山田太郎 - 1234	
	アクティブな体験版	チームの詳細を表示	
83	ユーザ管理 ~ ユーザ別 製品別	このチームに割り当て可能な製品はありません。	



【2】「**アクション」**メニューから、「サブスクリプションをこのチームに移動」を 選択します。

アカウント	*	アクション
☆ ホーム	チーム1の設定	チームを作成 サブスクリプション をこのチームに移動
 教品とサービス すべての製品とサービス 製品の更新 カスタムインストール アクティブな体験版 	 チーム: チーム 1 名前変更 	
83 ユーザ管理	v	
ユーザ別		
製品別		

【3】ここでは、サブスクリプションの「移動元」のチームを選択します。

※製品の選択ボタンの色が薄く表示され、選択できない状態の場合は、そのチームの製品にユーザが割り当て られたままになっている可能性があります。ユーザの割り当てを解除した後、再度お試しください。

アカ	ウント	_	◆ サブスクリプションをチーム	チーム1に移動		
a	ホーム		() チームからサブスクリプションを選	択 山田 太郎 - 1234	~	
0	製品とサービス すべての製品とサービス	ř	サブスクリプションを移動できるのは所有	月者の チーム2	移動元0	Dチームを選
	製品の更新		名前↓	<i>∓−</i> ⊿3	đ	
	カスタム インストール アクティブな体験版		Fusion 360	✔ 山田太郎 - 1234	的更新	選択
88	ユーザ管理	~	Euclas 360	180-1	白動東西	55140
	ユーザ別		rusion 300	21005-14	自動更新	VEEK
	製品別					
	請求と注文	~				
	サブスクリプションと契約					
ŵ	レポート	~				キャンセル
	インサイト					
	シートの使用状況		 2 確認と送信 			
	クラウド サービスの使用状況	2	0.00			
	ユーザ別クラウド サービス倒 状況	明	(3) 確認			



4. サブスクリプションを別のチームに移動する

【4】チームを移動するサブスクリプションを選択します。同じチームでも、別々の 契約番号を持つサブスクリプションは契約毎に表示されます。移動したい契約とシー トを選択します。

この例では、2シートのサブスクリプション契約を選択します。

アナ	ウント		◆ ++ブフクリプション:をエ	ノエーノーに移動		
8 9	ホーム 製品とサービス すべての製品とサービス	÷	 シノ、ノシノションをナー」 ① チームからサブスクリプションを サブスクリプションを移動できるのは 	ム ナ 一 ム 1 (こ不夕里) を選択 山田 太郎・1234 所有者のみです。	<u>~</u>	
	製品の更新 カスタム インストール アクティブな体験版		名崩↓ ► Fusion 360	シート/トークン 1シート	日付自動更新	選択
83	ユーザ管理 ユーザ別	÷	Fusion 360	2個のシート	自動更新	選択
	 製品別 請求と注文 サブスクリプションと契約 	v				
á	v#−ト	÷				キャンセノ

【5】移動するサブスクリプションとその内容を確認し、「送信」をクリックします。

アカ	ウント		◆ サブフクロプションをチーム チーム	1/二轮动	
a	ホーム			た前 - 1224	
9	製品とサービス	v		// Ab - 1524	
	すべての製品とサービス 製品の更新		2 確認と送信		内容を確認します
	カスタム インストール		次のサブスクリプションがチーム 山田 太郎‐1234 ;	から チーム 1 に移	動されます。必要に応じて、サブスクリプションをいつで
	アクティブな体験版		も元のチームに戻すことができます。		
88	ユーザ管理	÷	Fusion 360 2 個のシート		
	ユーザ別		E1 20 3C 201		
	製品別		現在のチーム	>	新しいチーム:
	請求と注文	~	山田 太郎 - 1234		₹-Δ1
	サブスクリプションと契約				
660	レポート	~			
	インサイト				+ャンセル 送信
	シートの使用状況		() Telle		
	クラウド サービスの使用状況	2	(3) 確認		
	ユーザ別クラウド サービス値 状況	印			



4. サブスクリプションを別のチームに移動する

【6】サブスクリプションが正常に移動され、チーム「山田 太郎 -1234」から「チ ーム 1」に2 ライセンス移動されました。

更にサブスクリプションを移動する場合は、同じ動作を繰り返します。





5. それぞれの契約のチームを確認する

チームを複数作成し、サブスクリプションをそれぞれのチームに移動した場合、どの 契約がどのチームで管理されているかを確認するには、「サブスクリプションと契 約」メニューで確認します。それぞれの契約のサブスクリプションがどのチームで管 理されているかが表示されます。右上の「書き出す」ボタンでデータをエクセルや CSV に書き出すこともできます。

アナ	ウント	サブ	スクリプションと契約	的			- [
a	ホーム	チーム:	すべてのチーム	~			
\heartsuit	製品とサービス	すべての	のサブスクリプション(3)				
	すべての製品とサービス 製品の更新	דדע	スクリプション↓	≠-4 Î	シート/トークン	周期	日付
	カスタムインストール アクティブな体験版	E	Fusion 360 サブスクリプション ID 11000	<i>≠−</i> ⊿3	1シート	月	自動更新 8月 7, 2021
88	ユーザ管理 ユーザ別	Ť E	Fusion 360 サブスクリプション ID 11000	チーム3	1シート	月	自動更新 8月 7,2021
4	製品別	E	Fusion 360	≠ −41	2シート	F	自動更新
	請求と注文	j V	サブスクリプション ID 11000				8月 9, 2021
	サブスクリプションと契約	J		NOT 1	一一一一		\ ⊥% 7777=71→-+→
ŵ	レポート	~ ~ 7	にそれの契約から	とのナーム	で官埋され	ているた	いか唯認 ぐさま
	インサイト						
	シートの使用状況						
	クラウド サービスの使用状況						
	ユーザ別クラウド サービス使用	B					

データを書き出す場合は、「**すべてのチーム」**をまとめて書き出すか、チーム毎にレ ポートを抽出できます。

	- 1. F	「ウンロードすると、スプレッ	אויז כניתים אמרי - כיז	敝を解析、官理、共有9 @0	OICIETT OFF A 9							
1	<u>у</u> — Д. 9											
	形式	XLSX	~	選択した各データ カテゴリのら ドします。	ヮブを含む単一のフ	ァイルをダウンロー						
	7-	タ カテゴリ	B	付範囲								
		サブスク!	リプション 現	在								
		🗹 ユーザ	現	在								
		☑ 使用状况		過去3ヵ月	~							
			5,6	月 01, 2021-現在								
			58	9 01, 2021-現在		書き出す						
	A	в	5	9 01, 2021-現在	E	書き出す	G	п		J	Ν	L
1	A team_alias	២ offering_name	c contract_number	9 01, 2021-現在 v subscription_id	E term	書き出す 「 start_date	end_date	n autorenew_date	subscription_status	seat_quantity	reseller_email	reseller_nam
1 2	A team_alias チーム 1	в offering_name Fusion 360	c contract_number 11000	9 01, 2021-現在 5 subscription_id	E term Monthly	書き出す start_date 2021-07-09 00:00	end_date 3333-12-31 00:00	H autorenew_date 2021-08-09 00:00	subscription_status Active	seat_quantity	reseller_email	reseller_nam
1 2 3	A team_alias チーム 1 チーム 3	B offering_name Fusion 360 Fusion 360	ss contract_number 11000 11000	01, 2021-MEE	E term Monthly Monthly	きさ出す F start_date 2021-07-09 00:00 2021-07-07 00:00	end_date 3333-12-31 00:00 3333-12-31 00:00	H autorenew_date 2021-08-09 00:00 2021-08-07 00:00	subscription_status Active Active	seat_quantity	reseller_email	reseller_nam
1 2 3 4	A team_alias チーム 1 チーム 3 チーム 4	b offering_name Fusion 360 Fusion 360 Fusion 360	c contract_number 11000 11000	01.2021-RE subscription_id	E term Monthly Monthly Monthly	まま出す start_date 2021-07-09 00:00 2021-07-07 00:00 2021-07-07 00:00	end_date 3333-12-31 00:00 3333-12-31 00:00 3333-12-31 00:00	н autorenew_date 2021-08-09 00:00 2021-08-07 00:00 2021-08-07 00:00	subscription_status Active Active Active	seat_quantity	reseller_email	reseller_nam
1 2 3 4 5 6	$\begin{array}{c} A \\ \text{team_alias} \\ \mathcal{F} - \mathcal{L} & 1 \\ \mathcal{F} - \mathcal{L} & 3 \\ \mathcal{F} - \mathcal{L} & 4 \end{array}$	b offering_name Fusion 360 Fusion 360 Fusion 360	53 contract_number 11000 11000	01.2021-BRE	E term Monthly Monthly Monthly	(男会批:3) start_date 2021-07-09 00:00 2021-07-07 00:00 2021-07-07 00:00	end_date 3333-12-31 00:00 3333-12-31 00:00 3333-12-31 00:00	н autorenew_date 2021-08-09 00:00 2021-08-07 00:00 2021-08-07 00:00	subscription_status Active Active Active	seat_quantity	reseller_email	reseller_nam



6. サブスクリプションの移動ができないシナリオ

チームのセルフサービス機能は、以下のケースについてはセルフで行っていただけない場合があります。これらに該当する場合は、「**サポートへのお問い合わせ」**からクライアントサービスにお問い合わせください。

- Autodesk Cloud Construction 製品 (BIM 製品)
- Architecture, Engineering and Construction Collection (AEC)
 ※AEC コレクションには Autodesk Docs が含まれます。
- シングルサインオン(SSO)を利用しているプレミアムサブスクリプションの 製品

※プレミアムサブスクリプションをご契約でも、SSOを利用していない場合は移動可能です。

お問い合わせの際に必要な情報:

- 契約移動先のチーム名 移動先のチームは事前に作成をお願い致します。
- 移動したい契約の契約番号 契約の一部のみ移動する場合は「製品名」と「シート数」もお知らせ下さい。

<u>∧</u>注意:

• Token Flex のライセンスは、サブスクリプションの移動機能はありません。



7.トラブルシューティングのヒント

トラブルシューティング その①

問題:

チームを移動したいサブスクリプションの契約が選択できない。

アカ	ウント		← ++-ブ ⁻	7カロプションをチー	ハチームっに移動	έh		
ô	ホーム			チームからサブスクリプション	を選択 チーム 1	~		
0	製品とサービス すべての製品とサービス	×		サブスクリプションを移動できるの	は所有者のみです。			
	製品の更新 カスタム インストール			名前↓	シート/トークン	日付		
	アクティブな体験版			Fusion 360	2 個のシート	自動更新	選択	
88	ユーザ管理	~					ボタンの表示	色が薄く
	ユーザ別						契約を選択で	きない
	製品別							
	請求と注文	~						
	サブスクリプションと契約							
ŵ	レポート	~					キャンセル	
	インサイト							
	シートの使用状況		(2)	確認と送信				
	クラウド サービスの使用状況		3	確認				
	ユーサ別クラウド サービス使 状況	用	0	FEEMUA				

解決策:

移動元のチームのサブスクリプションにユーザが割り当てられている場合は、サブス クリプションを移動できません。ユーザの割り当てを解除した後、再度お試しくださ い。※割り当ての解除方法は、「オートデスクアカウント マニュアル ネームドユーザー編」P.52~55 を 参照してください。

トラブルシューティング その②

問題:

アクション画面で、チームを移動したいサブスクリプションが表示されない。

解決策:

サブスクリプションを移動するときに、「**移動元」**のチームに合わせた状態でアクションボタンをクリックすると、サブスクリプションの移動画面で移動元の製品は表示 されません。

「移動先」のチームに合わせた状態から、アクションボタンをクリックしてください (P.13~16参照)。



購入後のお問い合わせおよび参照リンク

購入後のお問い合わせ先

サポートへのお問い合わせ

参照リンク集

ご利用中の製品の技術的なサポートに関して、早期解決に役立つポイントをご紹介します。

Autodesk Knowledge Network (AKN)

オートデスク製品の使用方法やご利用に関してのヒントを検索できます 。 製品を選択し、キーワードで解決方法を検索します。

オートデスクコミュニティフォーラム

フォーラムに質問を投稿すると、オートデスクの技術サポートスペシャリストや他のユーザ様による回 答が得られ、情報共有などが可能です。

製品の技術的なサポートに関する問い合わせ(電話予約ページに移動)

有効なサブスクリプション契約をお持ちのお客様は、電話(予約制)による技術サポートを受けられま す。電話予約方法の確認はこちら

※オートデスクは理由を問わず単独の裁量で、通知を行うことなくいつでも、販売ルールやサポート対象等を変更する権利を留保します。Autodesk、オートデスクのロゴ、AutoCAD 等 は、米国およびその他の国々における Autodesk, Inc. およびその子会社または関連会社の登録商標または商標です。 その他のすべてのブランド名、製品名、または商標は、それぞれの所有者に帰属します。オートデスクは、通知を行うことなくいつでも該当製品およびサ ービスの提供、機能および価格を変更する権利を留保し、本書中の誤植または図表の誤りについて責任を負いません。